

# ”くにみの日”のプレイベント

## 〈町長と対話の日〉

### みなさんの意見を聞かせてください。

8月23日、観月台文化センターにおいて初めての試みとして「町長の日」を開催しました。

9月23日のくにみの日は、私たちが国見町に住ん

でいることを改めて、考え「まちづくりの気持ちをもつにするとし、全ての町民が、心の元気」を取戻し、復興の誓いを新たにす

る日となる事を願って開催されています。

今回の「くにみの日のプレイベント」として「改めて国見町のことを町長と一緒に考える集い」として、町民や関係団体役員

の皆さんと一緒に意見・要望・提言を直接聞き、町政運営や施策へ反映させるための直接対話の日として設けられました。



参加者は各種団体の代表や一般町民の約100人が出席して行われました。

## 青年農業者・商工業者、町内主要企業、福祉関係者の皆さんと懇談しました。



上 6月10日青年商工業者  
下 7月25日福祉懇談会

町は5月から7月にかけて、青年農業者、青年農業者、町内主要企業、福祉関係者との懇談会を開催しました。

この懇談会は、東日本大震災からの早急な復興、復興を目指して、町内各界、各層の代表者から町長が直接意見を聞き、町政に反映させることを目的に行いました。

青年農業者からは「農家が使える補助制度をわかりやすく知らせてほしい」「農業高校の生徒や大学生の農業実習・体験学習を受け入れ、若者同士の交流を活発にすべき」青年商工業者からは「町民参加型事業を継続してほしい」「地産地消の考え方が重要。商店、農家、町民、行政が一体となってそのシステム作りをすべき」主要企業からは「行政は国、県、町の情報を企業に流してほしい。町は定期的に企業を訪問すべき」福祉関係者からは「認知症の方への地域ぐるみでの取り組みが必要」などの意見が出されました。

懇談会で出された意見は、町長直轄の町民相談室が整理し、担当課と連携しながら予算等を含めた対応を検討することとしています。

# 今年もおいしくできたよ モモのトップセールスと 地域間交流

町は7月から8月にかけて、特産のモモのトップセールスと地域間交流を展開しました。

町長、副町長に加えて、ミスピーチ、モモ農家の青年たち、福島県ふるまい隊等の協力を得ながら、首相官邸をはじめとして、北海道庁、札幌市役所、札幌市中央卸売市場、東京大田市場、羽村市、岐阜県池田町、千葉県南房総市、東京都八王子市と、広範囲に国見町のモモのおいしさ、質の高さをPRしました。

また、北海道庁、札幌市役所、南房総市では、町長のトップセールスと併せ、地域間交流を念頭においた表敬も行いました。

八王子市の道の駅では「初めて福島産のモモを食べた。おいしさにびっくり。来年も来てね」「私も福島出身。がんばれ」などの声が寄せられました。

今回販売したモモは約3トン。町は来年1月のあなぽセールスと地域間交流に取り組みます。



1 8月18日首相官邸で安倍首相と  
2 8月7日東京・道の駅「八王子・滝山」で国見のモモのおいしさを説明するモモ生産農家の青年  
3 8月6日北海道庁・土屋担当部長と  
4 8月19日南房総市・道の駅「枇杷倶楽部」で嶋田副市長と